



クリーンアップ。

ひぬま

Vol.25
2012.2

<http://www.hinuma-network.jp>

ネットワークだより

酒沼をきれいに ～大酒沼漁業協同組合～

クリーンアップひぬまネットワークの会員である大酒沼漁業協同組合（事務局：茨城町下石崎）では、酒沼や酒沼川周辺の岸辺・水底の清掃を実施しております。

今回は、その取り組みをご紹介します。

酒沼に流入する河川の1つに、酒沼川があります。酒沼川はその中で最も大きいことから、ゴミも大量に流入します。

大酒沼漁業協同組合では、流域の市町の協力のもと、毎年2回以上、酒沼川本流及び支流から流入するゴミ（可燃物、プラスチック、カン、ビン、流木、わら等）を回収しています。

そのほか、廃タイヤはもちろん、時には、冷蔵庫、テレビ、バイクなどもあります。

特にゴミがたまりやすい入り江が数箇所あり、多い時には入り江一面ゴミだらけで、丸1日作業するときもあります。

組合員は、漁業操業中においても、流れているゴミを拾い自宅で処分していますが、ゴミは一向に減りません。

（大酒沼漁業協同組合）



ゴミを回収する組合員の方々



回収したゴミ（時には数トンにも）

これらのゴミは、酒沼に直接捨てられた物ばかりでなく、酒沼に流入する河川の上流で捨てられた物もあります。酒沼湖内だけでなく、上流の河川でも「ゴミを捨てない」ことが必要です。

酒沼は、湖面積が9.35km²であるのに対して、流域（降った雨が酒沼に流れこむ地域）の面積は、439km²もあります。また、流域内には、約16万人の方が住んでいます。

酒沼の水質浄化を進めるためには、流域全体での取り組みが必要です。

誰かがゴミを捨てれば、また別の人が捨てていく…このようなゴミがゴミを呼ぶ悪循環を断ち切るためには、ひとりひとりの心がけが大切です。



**ゴミはゴミ箱へ！
正しい方法で処理しましょう！**



クリーンアップひぬまネットワーク会長あいさつ



涸沼を水や物質の循環からヒトと自然とが共生する流域づくりの拠点とみたなら、いまの水環境は汽水湖として最適なのだろうか、と自問し、そうではない、と答えている。

それでも、早春、日没前後、地平線を朱に染める太陽を眺める時、水面には金波銀波の躍動があり、空の色彩も紫から漆黒に転じて宵の闇を予告する。影筑波の頂きに上弦の月がかかると一幅の絵画だ。景観は秀逸。

沼の中はと探ると、昭和30年代までは生存していた南限の魚ニシンは姿なく、ウナギ・ハゼはどうか生命を保ち、名産ヤマトシジミの数量はどうかと気になってしまう。栃木県境の山々の清流を集めた涸沼川には、どのような淡水魚が暮らし、どこまでサケが遡上しているのかも知りたいことだ。水鳥の数も。

東日本大震災から1年経過。ここ10年間で最少の出現数であったヒヌマイトトンボはどうか、と湖畔に立って水辺の健全度をはかれるヨシ群落を見つめ、小さな流れにメダカを見た。今年、きっと良いことがあるぞ！

クリーンアップひぬまネットワーク会長 廣瀬 誠

第11回ひぬま環境フォーラムを開催

平成23年11月17日(木)いこいの村涸沼において、「第11回ひぬま環境フォーラム」を開催しました。

第1部では、平成23年度涸沼水質浄化ポスター、第5回ひぬまフォトコンテスト、水質浄化活動功労者の表彰式を行い、選考委員会で選ばれたポスター24名、フォトコンテスト11名、水質浄化功労者(1団体)に表彰状が贈呈されました。



受賞者の皆様、おめでとうございます。今後ますますご活躍されますことを期待しております。

第2部では、茨城町ネットワーカー等連絡協議会 会長 照沼 一美様から「町民から見た涸沼」というテーマでご講演いただきました。

涸沼の美しい写真をご紹介いただきながら、人と水との関わりについて再認識することができました。



山口 紗和(徳宿小・3年)



鈴木 舞夢(長岡小・6年)



高橋 志帆(水戸三中・2年)



最優秀賞「雪の朝」
鈴木 英明



ニコ賞「こんなにも青い空と沼と」
田村 英明

News!

平成24年1月5日から22日まで、茨城県立図書館ギャラリーにおいて、平成23年度 涸沼水質浄化ポスター及び第5回ひぬまフォトコンテストにおいて、各賞を受賞されたみなさまの作品を展示した「クリーンアップひぬまネットワーク作品展」を開催いたしました。

期間中は、たくさんの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。



Q1.「汽水湖」って何ですか？ A1.淡水(普通の川や湖の水など)と海水が混じり合った湖のことです。

イオンタウン水戸南の環境保全への取り組みについて ～イオンタウン水戸南～

イオンタウン水戸南は、2007年4月に茨城町にオープンしてから、おかげさまでもうすぐ5年目を迎えようとしております。

当ショッピングセンターがめざすのは、地域に根ざし、地域のお客さまから末永く親しまれ、地域の人々とともに発展していくショッピングセンターです。

そのため、当ショッピングセンターに勤務する全従業員で、オープン時より毎月11日をクリーン活動として、近隣道路などのゴミ拾いや草抜きなどの清掃活動を実施したり、カスミにて食品トレイやペットボトルなど再利用できる資源の回収BOXを設置したりと、施設を通して環境保全に取り組んでおります。

また、オープン時、みなさまと一緒に植樹する「イオンふるさとの森づくり」活動で植えた一本一本の苗木も今ではすっかり大きく育っております。

2009年3月に活力ある地域経済及び地域社会の実現に寄与することを約束する為「地域貢献協定」を茨城町および茨城町商工会と結びました。

それ以来、涸沼流域クリーン作戦や涸沼環境フェスティバルなど地域行事への積極的な参加や協力、施設で涸沼の環境を紹介するパネル展の開催などを通し、環境活動を推奨してまいりました。

これらの活動を通して、地域社会の一員としての役割を十分に認識し、地域と共存を図る施設として地域貢献への意識の向上とともに、環境保全に取り組んでまいります。



クリーンアップひぬまネットワークに入会して1年 ～内原くらしの会～

私たちの会は、毎日の生活に係る事柄について学んでいる会です。

入会のきっかけは、昨年「涸沼から生活を考える」の演題のもと会長の廣瀬誠先生をお招きし、歴史・文化・生き物・そして自然環境の保全などについてご講話をいただいたことです。

その後、会員から「涸沼流域住民でありながら涸沼のことをよく知らなかった。そして、知りたい。」となり入会することとなりました。

会としての初参加は、8月7日に行われた「クリーン作戦」です。しかし、当日は地区のお祭りと重なり参加できない方が多くおりました。

参加した会員からは、「自然豊かで、多くの動植物が生息しているのに驚き、反面ゴミの投棄の多いのに残念です。」との声が聞かれました。

3月11日の大震災により堤防の破壊・湖底の変化と甚大な被害を受け、漁協や地元の方々には復興に御苦労されたことも伺いました。

クリーンアップひぬまネットワークも設立より10周年が経過し、今後も多くの住民・団体のご参加をいただき、ネットワークとしてさらに輪を広げていくことが大切ではないかと思われまます。

私たちの会は、その一役を担えればと微力ながら活動に参加してまいりたいと思います。



8月7日に行われた「クリーン作戦」に参加しました。
(涸沼自然公園にて撮影)



賛助金のご協力ありがとうございました

ネットワーク活動の充実を図るため、事業所会員及び団体会員の皆様に賛助金(1口10,000円)のご協力をお願いしましたところ、25事業所及び団体様から合計260,000円のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。今回ご協力いただきました賛助金は、啓発物品(エコバック:右写真)の作成に充てさせていただきます。厚く御礼申し上げます。

今後も湖沼の水質浄化活動を実践してまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願い致します。



<オリジナルエコバック>

【2口】 日本たばこ産業株友部工場

【1口】 あさ川製菓(株)

株常陽銀行公務部

株タカタ

八幡砕石工業(株)茨城工場

社園芸いばらき振興協会

水戸市常澄商工会

水戸農業協同組合

茨城旭村農業協同組合

株ニコン水戸製作所

内原カントリー倶楽部

イオンリテール(株)イオン笠間店

財茨城県環境保全事業団

いこいの村湖沼

笠間市商工会

社茨城県畜産協会

社笠間観光協会

株山新

関東セキスイハイム工業(株)

板橋精機(株)岩間工場

株茨城県中央食肉公社

オールドオーチャードゴルフクラブ

水戸市内原商工会

茨城中央農業協同組合

茨城県生活協同組合連合会

(敬称略・順不同)

第6回ひぬまフォトコンテスト作品募集のお知らせ

クリーンアップひぬまネットワークでは、自然に親しみ、水質浄化や自然保護に対する意識を高めることを目的に、湖沼流域の自然や日常の風景などを題材とした写真作品を募集しております。

湖沼流域の自然や人々の暮らし等、あなたが未来に残したい湖沼の風景を、写真を通じて表現してみませんか。

たくさんのご応募をお待ちしております。

**応募
規定**

- 作品のテーマは、湖沼流域の①自然風景、②動植物、③人々の暮らし等です。
- 作品は、カラー4切・ワイド4切・A4サイズとします。(※インクジェットによるプリント可)
(高校生以下は、2Lサイズからの応募が可能です。)
- 応募は、1人10点以内です。(各作品の裏面に応募用紙を貼付願います。)
- 最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞5点、ニコン賞1点を選定し、表彰する予定です。
(表彰式は、平成24年11月に行う予定です。)



応募締切：平成24年9月28日(金) ※当日消印有効

※応募の詳細については、ホームページ (<http://www.hinuma-network.jp/>) をご覧ください。

5	<input type="text"/>	7			2	3		9
	2			1			6	<input type="text"/>
8				6				5
			9	6				
	8	4		2		9	5	
3	<input type="text"/>		5	4				
9				3				4
	3			9			2	
1		6	2	<input type="text"/>		8		3

読者プレゼント 「ナンバーナイン」に挑戦

タテ(9列)・ヨコ(9行)・マス(9桁)に1から9の数字が重複しないように入ります。4つの□に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で5名の方に「オリジナルエコバック」を、10名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号」をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※平成24年3月31日(土)の消印有効です。

★ 前回の解答…ネットワークだよりVol.24ナンバーナインの答えは「19」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

発行：クリーンアップひぬまネットワーク

〒310-8555 水戸市笠間町978-6 県庁環境対策課水環境室内 TEL.029-301-2968/FAX.029-301-2969
ホームページアドレス <http://www.hinuma-network.jp/>